



同社が主催するセミナー。経営にダイレクトに役立つ内容とそこでの人脈の広がり的魅力だ。経営者として知っておかなくてはならない税務や法務だけでなく、経営のあり方などを参考にする人も多い。

会社メモ

社名／株式会社コンサルティングオフィス
本社所在地／〒245-0009

横浜市泉区新橋町1463-1

TEL／045-813-8434

FAX／045-813-6744

URL／<http://www16.ocn.ne.jp/~cof/>

代表者／大島昌子

設立年／1990年

事業内容／社員の採用・退職時の手続き、申請、届出。就業規則、賃金規定賃金台帳の作成、休業補償、出産育児一時金などの請求、労働保険、社会保険の加入、脱退各種給付金・助成金、年金の調査、試算、裁定請求。経理・記帳代行。給与計算。社会・労働保険など各種調査立会い、厚生・国民年金、遺族、障害各年金の裁定請求、ホームページ作成、社内ネットワーク構築。労働者派遣事業許可申請、建設業許可申請、会社設立、組織変更登記申請、上記に関する各種相談・指導。

だ。顧問先のために役所の窓口で直談判、監督官庁に申し入れをして、業務の是正に成功したこともある。採算を度外視した契約に社員が思わず、「やめてください」と怒ることもあるという。が、「人間として最善を尽くしてやっていきたい」とますます意気軒昂だ。それは人の喜びが自分の対価になるから。将来は障害者福祉を何らかの形で実現したいと思っている。昔から相談を受ける事が多く、気になっている分野であるためだ。そして、もう一つが進行する少子化のなかでの子供の環境づくり。

「困っている人を黙ってみていられない」。持ち前のプラス思考に加え、地域で相談を受け、解決していった祖父の影響を受けた大島氏の夢は膨らむ。常に行動で返していこうとする同氏のことだ。すでに青写真は描いているのかもしれない。

明るく、忍耐力があり、堅実で外柔内剛といわれる薩摩おごじよ。その薩摩おごじよを絵に描いたような大島氏は今日も笑顔で全力疾走だ。

ネスを創造するために、懇親会や勉強会などもたびたび開催する。しかし、同社はこうした経営への助言だけでは語りきれないダイナミックさを持つ。それが大島氏の熱意に裏づけされた行動力だ。あるときは、翌日の不渡りを阻止するために、顧問先の経営者とともに取引銀行に駆けつけ支店長を2時間以上説得し解決した。また、あるときは顧問先の従業員宅で、一家の大黒柱の逝去に伴い、生活保護、遺族年金の手続きを行うとともに、社宅の引き払いと住居手配を代行した。労災が発生したときもすぐに駆けつけ、病院に同行する。一度、健康保険で受診してしまつと、その後労災保険に切り替えるのが大変だからだ。顧問先の経営はもちろん、従業員の家族までがサポートの範囲だ。したがって、大島氏の勤務に時間はない。夜も朝も必要なときにはすぐに駆けつける。大変なこともあったが、それが自らのエネルギーになってきた。大島氏は社会保険事務所に勤務中に「明るく、行動力がある。皆で応援するから会社にしなさい」と勧められて起業した。1990年は税務から司法、諸手続きのすべてを一ヶ所で請け負う企業はなかった。重宝な存在ではあるが、同社の顧問先のオーナーはほとんどが大島氏より年上の男性だ。彼らに認めてもらい、評価されるためにはいい仕事をして、結果を出していかなければならない。そのため、大島氏は1990年の創業以来、常に最善の結果を出すために、走り続けてきた。その姿勢が信頼関係を構築し、顧問先が知り合いを紹介、紹介された企業がさらに他の企業を紹介と、紹介が紹介をよび、現在では取引先は関東一円に広がっている。

あなたの喜びが私の対価

「合縁奇縁です」と自らいう大島氏は「何らかの縁があった人だから」と人を大切にしている。「困っている人に喜ばれたら、それでいいと思います」という大島氏であるので、生活相談や困りごとまで持ち込まれる。顧問先の従業員の身内の相談事や結婚式のプロデュースまで手伝うこともある。単なるアウトソーシングはいくらでもある。しかし、損得を超えたところにあるのが同社のビジネス